



「ぼくの わたしの すきな 本」

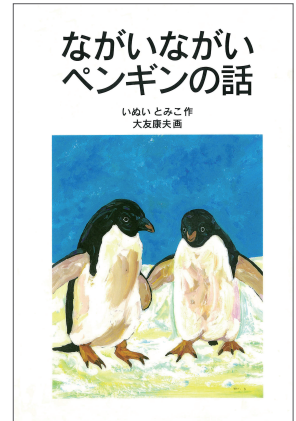


こんな本だよ

南なんぎよくで生まれたアデリーペンギンの双子ふたごの兄弟、ルルとキキのぼうげんの話です。ペンギンの言ことばでルルは、くしゃみくん。キキは、さむがりやのちびくんという意味です。ぼうげん中にシロナガスクジラに出会ったり、シャチやトウゾクカモメ、ヒョウアザラシにおそわれたり、はらはらどきどきするおもしろい物語です。

この本のこころがすき！

ぼくは、たくさん海の生き物が登場するところがすきです。海の王者おうじゃシャチにねらわれた時、シロナガスクジラのガイとキキがにげられるように、ルルがおとりになったところがゆうかんで、とてもかっこいいなあと思いました。それから、ルルとキキがしかられて、タゴはんのオキアミをもらえなかった日のま夜中に、ふたりでこっそり、近くの氷のうき島へ出かけて、はじめて自分の口でオキアミをすくって食べた場面では、ぼくの口の中にも、つめたい水にまじったおいしいオキアミのごちそうが入ってくるような感じがしました。



(出版社：岩波書店)

本なの名前なまえ

ながいながいペンギンの話はなし

本かを書いた人

いぬい とみこ(作さく) / 大友おおとも 康夫(画え)

きびしい自然しぜんのなかで、ルルとキキが力ちからを合わせて
いろいろなことたいけんを体験しながら成長せいちょうしていくよ。
ルルの勇気ゆうきあふれる行動こうどうから目がはなせないね。

